



え い ち 叡智と愛 3.0

臼杵市立北中学校
校長通信 NO.15
令和8年7月14日
文責:戸高浩二

保育実習

7月3日(金)、3年1組がすみれこども園で、7月6日(月)、3年2組が海辺こども園で半日、保育実習をしました。

保育実習では、全員が園児に読み聞かせをしました。生徒は、この日に向けて、図書館司書の方の講義を聴いたり、本を選んで練習をしたりしていました。本番では、年齢にあった本をゆっくり丁寧に読むことができ、園児はとても喜んでいました。読み聞かせ以外にも、食事を食べさせたり、外で一緒に遊んだりしました。

この体験を通して、命を預かり、乳幼児を育てる保育士の仕事を理解したり、これまでいろんな人の力によって生きてきたことを実感したりすることができました。



臼杵支援学校との交流活動

7月13日(月)の午前、2年生が臼杵支援学校に行って交流活動をしました。

交流活動では、8つのグループに分かれて自己紹介をした後、ボッチャのゲームをトーナメント方式で行いました。

交流活動では、北中生と支援学校の生徒が一緒になって、声を掛け合ったり、共に喜んだりする姿が見られました。



トートバッグとデザイン

1年生の家庭科の授業では、トートバッグのデザインを考え、描く学習をしています。

自分の名前をデザインして、それに着色して完成させます。生徒は、それぞれ自由な発想でデザインを考え、完成させていました。



学校運営協議会

7月7日(火)10時から会議室で第2回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会では、会長・副会長・委員の方から多くの意見や提案が出されました。

○社会では単なる学力だけでなく、社会性や判断力を含めた「広い学力」が重要。子どもたちが様々な社会課題に向き合い、自ら考え、自分の意見を表現できる力を育てるために、学校教育の役割は大きい。

○毎日ノートについて、生徒によって取組内容に差があり、ノートを埋めることが目的になっている生徒もいる。学習効果につながる具体的な指導をさらに充実してほしい。

→(学校から)良い例の紹介だけでなく、具体的な活用方法の指導を強化する。また、学習委員会とも連携しながら個別指導を充実させる。

○下北地区コミュニティセンターの学習スペースを夏休みや休日に自習の場として活用しては。

→(学校から)昨年度、活用について生徒に紹介した。今年度も使用ルールを含め、活用方法を紹介する。

○今年度、正式にPTA 専門部を廃止し、ボランティア組織「北中盛上会」を結成して活動している。

盛上会は、強制ではなく自主参加で、「できる人が、できる時に参加する」方式。

→(委員から)現代に合ったPTA 活動の形で、地域や保護者の主体的な参加につながっている。今後も継続できる体制づくりが必要。

○体育大会での生徒の姿が大変素晴らしかった。

○校内研究の「わかる」から「できる」「説明できる」という学力向上の取組は分かりやすく評価できる。